

群馬県行政改革大綱 (平成29~31年度) 実施計画 (素案)

平成29年1月

群馬県

目 次

群馬県行政で	收革大綱 (平	成29~31年度)実施計画	画	体系	区多	•	•	1
目標1 県	民目線に立っ	た県政の推進							
改革 1	情報提供内容	容・情報発信	手段の充実	₹•				•	3
改革 2	県民意見の	反映手段の充	実・・・・					•	7
改革3	行政手続に	おける利便性	の向上・・					•	11
改革4	地方分権改	革と自治体間	連携の推進	≝ •				•	15
目標 2 「何	±事の仕方」	の改革							
改革 5	事務改善と	適正な事務の	推進・・・			•		•	23
改革 6	民間活力や	ノウハウの効	果的な活用	月・		•	•	•	31
改革7	自治を担え	る人づくり、							
	力を対	最大限発揮す	る組織づく	(1)		•		•	37
目標3 健全	全な財政運営	の維持							
改革8	歳入確保と	歳出の最適化						•	45
改革 9	資産の適正	管理と有効活	用・・・・			•		•	55
改革10	公営企業改	革・・・・・							65

群馬県行政改革大綱(平成29~31年度)実施計画 体系図

~群馬の未来創生を支える県政改革の推進~ 【3つの目標・10の改革・30の取組事項・60の具体的な取組】

	目標 改革 取組事項	具体的な取組			目標 改革 取組事項	具体的な取組			目標 改革 取組事項	具体的な取組		
目標1 県民目線に立った県政の推進					2 「仕事の仕)	方」の改革	女革 目標3 健全な財			政運営の維持		
改革 1 情報提供内容・情報発信手段の充実					5 事務改善と適	近正な事務の推進	ē	汝革	8 歳入確保と崩	遠出の最適化		
(1)	オープンデータ化の) 推進など県政情報の 提供内容の充実	① オープンデータ化の推進			(1) 実施方法の工夫に よる効率化	① 全庁的に発生する事務に おける改善の推進		(1)収入の確保	① 県税収入の確保		
		② 会議録等の公開の促進				② 地域機関における公用車 利用の効率化				② 自主財源収入の確保		
		③ 公共事業等の見える化の 推進				③ エネルギー使用量の削減				③ 基金の最適な運用		
(2)	提供・発信手段の 充実	① 安心・安全情報の提供手 段の充実				④ 電力調達の効率化		(2	金利動向を踏まえ) た安定的な資金調 達	① 金利動向等を踏まえた償還年限 や発行額の検討と市場公募債をはじ めとした多様な県債発行		
改革	2 県民意見の反	映手段の充実				⑤ オープンカウンタの定着 化		(3)支出の最適化	① 県単補助金の見直し		
(1)	多様な手段による) 積極的な県民意見 の聴取	① 広聴チャンネルの拡大				⑥ 公共事業の経費節減		(4) 効果的な事業評価) の実施	① 事業評価の実施		
		② 県民参加型公共事業の推 進		((2) 情報システムの活 用による効率化	① 文書の電子化の促進				② 公共事業評価の実施		
		③ 計画等の評価段階における県民意見の反映				② 情報システムの最適化		(5) 基礎的財政収支の) 黒字の維持	① 基礎的財政収支の黒字の 維持		
(2)	審議会などへの公) 募委員・女性委員 の登用の促進	① 各審議会等における公募 委員の増加				① 時代や環境の変化に合わせた事務の適正確保に向けた 取組の推進	7	改革	9 資産の適正管	管理と有効活用		
		② 各審議会等における女性 委員の増加				② 条例の一斉点検・見直し		(1	税外収入未済額の) 圧縮に向けた税外 債権の適正管理	① 税外債権の適正管理		
改革:	改革3 行政手続における利便性の向上			改革	草6 民間活力やノ	ウハウの効果的な活用		(2)未利用財産の売 却・有効活用	① 未利用財産の売却・有効 活用		
(1))行政手続の簡素化	① 社会保障・税番号制度の 活用			民間との連携によ (1) る県民サービスの 向上	① 民間活力やノウハウの積極的な活用の推進		(3) 公共施設等の長寿 命化	① 公共建築物(建物系施 設)の長寿命化の推進		
		② 審査基準・添付書類等の 見直し				② 地域が主役の市民活動の 推進				② インフラ施設(土木系施 設)の長寿命化の推進		
(2)	行政手続の手段の 多様化	① 電子申請受付システムの 活用の促進				③ 建設産業の担い手育成		(4	統一的な基準によ) る地方公会計の整 備	① 統一的な基準による地方 公会計の整備		
		② 公金収納の利便性の向上		((2) 公の施設における サービス向上	① 公の施設のあり方検討の 継続実施	ē	改革	10 公営企業改革	<u> </u>		
改革	4 地方分権改革	と自治体間連携の推進				② 公の施設におけるサービ ス向上		(1) 公営企業の健全な 経営	① 企業局の健全な経営の維 持		
(1)	地方分権改革の成)果を活用した主体 的な政策推進	① 地方分権改革に関する提 案募集制度の活用		(① 公社・事業団等に対する 関与の見直し				② 病院局の経営の健全化		
(2)	市町村との連携の 推進	① 市町村への権限移譲の推 進			草7 自治を担える <i>.</i> 軍する組織づくり	人づくり、力を最大限		(2) 公営企業会計の適 用推進	① 流域下水道事業への公営 企業会計の適用		
		② 市町村行財政体制の強化 のための支援				① 人事評価制度の運用を通じた人材育成及び組織マネジメントの向上						
		③ 効果的な意見交換の実施				② 職員研修の充実						
		④ まちづくりにおける市町 村との連携の推進			実践的な政策形成 (2) 能力の向上	① 「政策プレゼン」の実施						
(3)	近隣都県等との連 携の推進	① 近隣都県等との広域連携 の推進				② 職員提案制度の実施						
				((3) 適正な組織・定員 管理	① 組織の見直し						
						② 適正な定員管理						
				((4) 働きやすい職場づ くり	① テレワークの試行導入						
						② 総労働時間の縮減						
						③ 心の健康に関する一次予防の推進						

1